

「わが子をいつまでも愛する祈り」

著者：ストーミー・オマーティアン

- ・対象：若いお母さんから孫の心配をするベテランお母さんまで幅広い年齢層で。お母さんの思いを理解する意味で、お父さんたちも。
- ・方法：グループ読みあわせ、分かち合う。
- ・回数：9回（1回1章ずつ）

1. この本を読むにあたって

著者：ストーミー・オマーティアン

作家、作詞家、シンガー。祈りに関する著書が数々邦訳されている。
二児の母。

翻訳者：土屋治子訳

出版社：いのちのことば社

出版年：2010年

本の要点：

親であることにおいて知らなければならないことは、「子育てに終わりはない」ということ。生涯かけて親としてできることは祈ること。子育てのポイント、何を願い祈るべきかがまとめられている。目の前の対処に追われてしまいがちな子育ての中で、必要な視点を得ることができる。そして、若いお母さんから孫の心配をするベテランお母さんまで共に分かち合い、祈り合うことができる。

本の内容：

序：成人した子を持つ親が知るべき七つのこと。

- ① 子育てに終わりはない
- ② 大人になった子を親は矯正できない
- ③ 神にはすべてを変えることができる
- ④ 自分を責めるのはやめる
- ⑤ 赦しの必要性
- ⑥ 唯一完璧な親である方の存在を知る
- ⑦ 私たちは「心からこの子のために祈ったのです」ということができる

- 第1章：わが子が人生の目的を理解できるように祈る
- 第2章：わが子の仕事と経済的自立のために祈る
- 第3章：わが子が否定的感情から解放されるように祈る
- 第4章：わが子が悪い影響と破滅的な習慣を拒否できるように祈る
- 第5章：わが子の結婚と子育てのために祈る
- 第6章：わが子がよい人間関係を築けるように祈る
- 第7章：わが子が危険から、試練から守られるように祈る
- 第8章：わが子が、神様の備えてくださる将来へと歩めるように祈る

2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

序：成人した子を持つ親が知るべき七つのこと

- ①「子育てに終わりはない」ということを知って、どんな思いになりましたか。
- ②子育てについて、自分を責めていることはありますか。そのような時はどうしていますか。これからはどうしたいでしょうか。

第1章：わが子が人生の目的を理解できるように祈る

- ①あなた自身は、人生に目的意識がありますか。どのようなものですか。
- ②あなたの子どもの神様から与えられている賜物を挙げてください。

第2章：わが子の仕事と経済的自立のために祈る

- ①あなたは、自分の子どもについてどんな夢を描いて期待していますか。或いは期待していましたか。そのためにどんなことをしてきましたか。
- ②あなたの子どもはどんな性格ですか。

第3章：わが子が否定的感情から解放されるように祈る

- ①あなた自身の中に否定的な感情はありませんか。そういう感情がある時はどうしていますか。
- ②あなたの子どもはどんな否定的感情を持っていると思いますか。なぜそう思いますか。

第4章：わが子が悪い影響と破滅的な習慣を拒否できるように祈る

- ①子どもたちの置かれている環境はどのようなものか知っていますか。どんな価値観の中に置かれているでしょうか。
- ②あなたは、社会の価値観からどんな影響を受けているでしょうか。

第5章：わが子の結婚と子育てのために祈る

- ①子どもにどんな結婚相手を望んでいますか。或いは望んできましたか。
- ②クリスチャンホームということで意識して大切にしてきたことはありますか。どんなことですか。

第6章：わが子がよい人間関係を築けるように祈る

- ①あなた自身の人間関係について振りかえましょう。影響を与えた人はいますか。どんな人からどんな影響を受けましたか。
- ②子どもの兄弟関係はどうでしょうか。将来どうなってほしいと思っていますか。

第7章：わが子が危険から、試練から守られるように祈る

- ①あなたの子どもは危険な目にあったことがありますか。その時はどうしましたか。
- ②自分の人生を振り返りましょう。危険な目にあったり、試練にあった時は、どうしましたか。

第8章：わが子が、神様の備えてくださる将来へと歩めるように祈る

- ①あなたの子どもの頃の夢はどのようなものでしたか。それを今はどう思いますか。
- ②あなたの子どもの名前の由来はなんですか。生まれた時、どんな思いで祈りをささげましたか。

3. 実践しよう！

祈りの時間を決めましょう。
具体的に祈りましょう。